

公立大学法人周南公立大学

財務レポート 2025



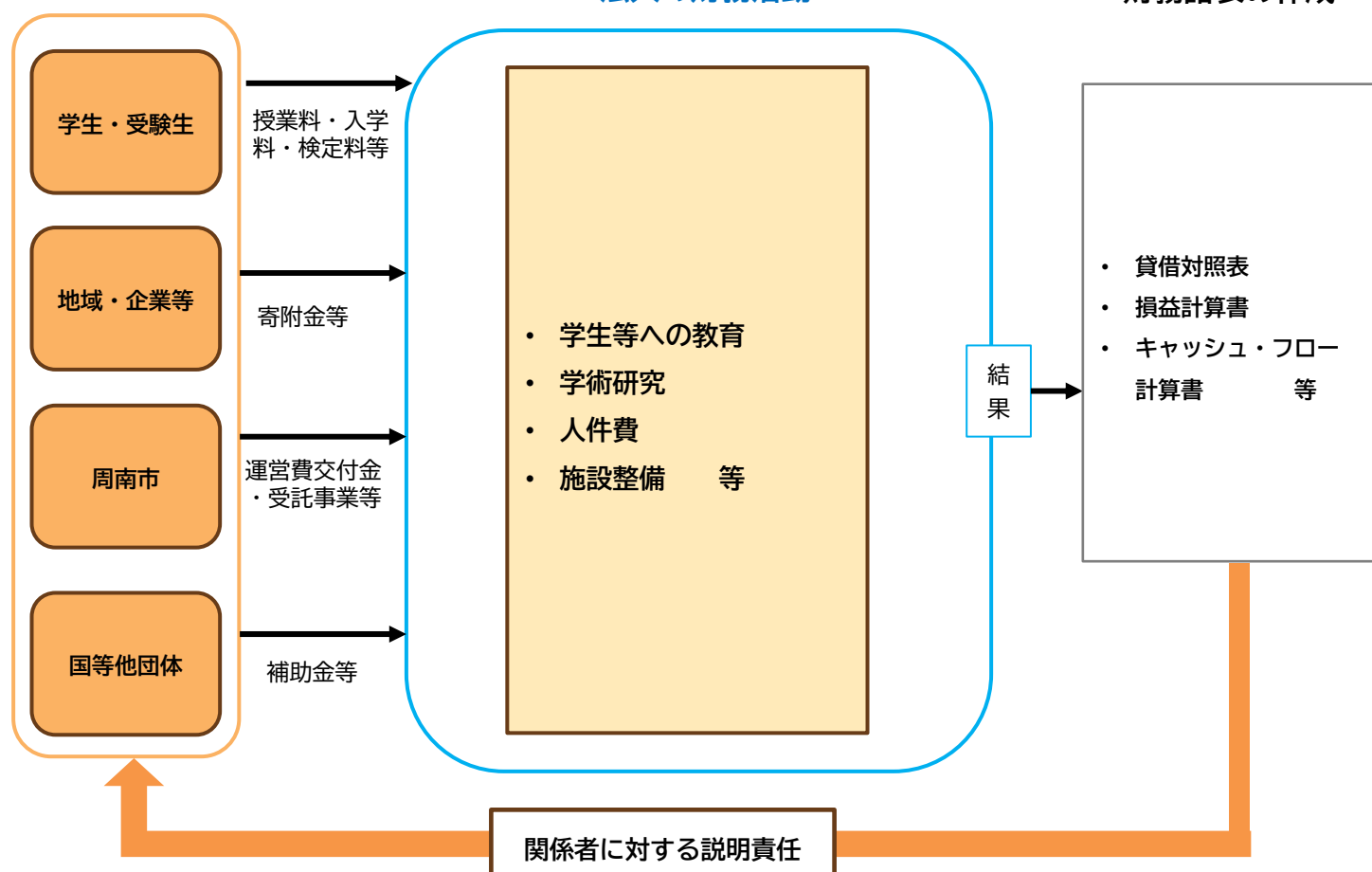
はじめに

周南公立大学は、本学の関係者の皆様に対して、法人の財務状況、運営状況を分かりやすくお伝えすることを目的として財務レポートを作成いたしました。

<法人の関係者の皆様>

<法人の財務活動>

<財務諸表の作成>



I. 2025年度主要トピックス

公立化して4年目にあたる2025年度は、大学改革の重要な柱として2024年度に開設した新学部・学科が2年目を迎え、3学部5学科、学生定員1,520名の総合大学として、地域課題の解決に資する地域貢献大学としての取り組みを一層推進してまいりました。

1. 教育の充実に向けた取組

- 新LMSを活用し、専門科目を含む全科目で学習評価の記録・蓄積を実施しました。また、全科目の50%で汎用ルーブリック等を活用した形成的評価を導入し、学生の学習成果を可視化する取組を推進しました。
- 地域共創型インターンシップやWell-being実習を実施するとともに、企業と連携したキャリア教育を推進しました。また、新たに情報系企業との情報交換会を実施し、受入企業を増加させるなど、学生の実践的な学びと地域・企業との接点を拡大しました。
- 学生の学習環境や科目の特性に応じ、オンライン、オンデマンド、ハイフレックスなど多様な授業方法を拡大しました。オンライン26科目、オンデマンド32科目、ハイフレックス23科目を実施し、柔軟で効果的な学習環境の整備を進めました。

2. 研究の充実に向けた取組

- 科学研究費の申請率向上及び採択件数の増加に向け、URAを中心にFD・SD研修やコーチングなどの取組を実施した結果、申請率は向上し、獲得件数は10件となりました。
- 共同研究・受託事業等については、地域団体との交流機会を設けるなどの取り組みにより、新規の共同研究及び受託研究等の件数を10件とし昨年よりも増加させました。

3. 地域貢献に関する取組

- 自治体との連携強化に関して、周南市及び協定自治体（計4市）と第1回連携推進会議を開催しました。また、新たな試みとして周南地域の自治体と連携し、オンラインでの公開講座を開講しました。
- 学生団体である「地域貢献推進委員会」を仲介して学生のボランティア活動を促進し、地域清掃や地域の祭りなどに参加しました。また、学生がスポーツサークルで指導するなど、中学校の部活動の地域移行にも貢献し、延べ897名の学生が地域活動に参加しました。

4. 法人経営に関する取組

- 産学官連携を推進し、新規・継続を合わせた共同研究等を増加させたことで、外部資金は約55,033千円となり、教育研究活動を支える自主財源の確保に努めました。
- 「周南みらい基金」の周知や寄附者拡大に取り組み、税額控除の適用及び返礼品制度の導入を実施しました。卒業生向け公式LINEの開設など、新たな寄附者との接点づくりを進めました。
- 高校訪問や入試説明会、オープンキャンパス等による積極的な学生募集活動を展開し、一般選抜の志願倍率は8.8倍となり、公立大学平均の5.6倍を上回りました。

Ⅱ. 貸借対照表の概要

貸借対照表

公立大学法人の貸借対照表は、年度末における財政状態を示す「財産目録」です。建物や設備、現金といった資産と、借入金などの負債、そしてそれらを除いた自己資金（純資産）を一覧で示し、法人全体の財政基盤が分かります。

2025（R7）年度 貸借対照表 ハイライト

当期末処分利益が法人化後はじめてプラスになりました。新規資産の増加額よりも減価償却費が上回ったため資産が減少しています。

資産		
土地・建物等	72.8 億円	2.6億円↓
有価証券	0.3 億円	—
現預金等	10.7 億円	2.2億円↑
資産合計	83.8 億円	0.4億円↓

負債		
返済の必要のない 債務 ※	11.2 億円	0.2億円↑
未払金等	3.5 億円	0.1億円↑
負債合計	14.7 億円	0.3億円↑
純資産		
総資産合計	69.1 億円	0.7億円↓

※ 返済の必要のない債務には、長期繰延補助金等、退職給付金引当金、寄附金債務、その他の一部が含まれます。

貸借対照表

資産 単位（千円）

	2024(R6)年度	2025(R7)年度	増減
資産の部	8,426,062	8,384,530	-41,532
固定資産	7,545,867	7,277,372	△ 268,495
土地	2,423,806	2,423,806	0
建物	3,765,641	3,568,111	△ 197,530
構築物	69,293	57,777	△ 11,516
機械・備品等	428,316	351,906	△ 76,410
図書	824,807	831,100	6,293
美術品・収蔵品	18,435	34,935	16,500
車両運搬具	477	3	△ 474
その他	15,090	9,736	△ 5,354
流動資産	880,195	1,107,158	226,963
現金・預金	804,050	995,063	191,013
有価証券	30,000	30,000	0
未収金	45,662	81,699	36,037
その他	482	396	△ 86

※単位未満切り捨てのため、合計は必ずしも一致しません。

負債 単位（千円）

	2024(R6)年度	2025(R7)年度	増減
負債の部	1,439,429	1,469,734	30,305
固定負債	518,061	438,349	△ 79,712
長期繰延補助金等	269,699	218,422	△ 51,277
退職給付引当金	93,081	113,887	20,806
長期リース債務	154,630	105,689	△ 48,941
その他	650	350	△ 300
流動負債	921,367	1,031,384	110,017
寄附金債務	705,271	710,082	4,811
未払金	106,556	195,458	88,902
その他	109,539	125,843	16,304

純資産 単位（千円）

	2024(R6)年度	2025(R7)年度	増減
純資産の部	6,986,633	6,914,796	△ 71,836
資本金	6,308,548	6,308,548	0
資本剰余金	△ 458,316	△ 610,344	△ 152,028
利益剰余金	1,136,401	1,216,593	80,192

Ⅲ. 損益計算書の概要

損益計算書

公立大学法人の損益計算書は、教育・研究活動等の運営状況を明確にするための「活動成績表」です。授業料や周南市からの運営費交付金などの収益と、教育・研究等にかかった費用を記載しており、1年間の活動状況がわかります。

公立大学法人の損益計算書は、単なる「収支報告」とは異なります。教育・研究という公共性の高い活動において、授業料や周南市からの運営費交付金といった貴重な財源がどのように使われ、どのような成果に繋がったかを示し、活動の透明性を担保するものです。企業の損益計算書が利益追求を示す一方、公立大学法人のそれは、社会への説明責任を果たし、皆さんの信頼を得て、より良い教育・研究環境のために未来へ投資する道筋を示しています。

2025（R7）年度 損益計算書 ハイライト

2025（R7）年度は、新学部設置に伴う入学者増の学年進行2年目のため、運営費交付金及び授業料等収入増により経常収益が増加しました。また、費用も教職員の増員に伴い、研究費および人件費増により増加しました。



前年比1.7億円の増益！

2025（R7）年度は前年度比1.7億円の増益となり、法人化以降初めて「徳山大学から引き継いだ残余財産」を一切取り崩すことなく、収入超過を達成することができました。

損益計算書

費用

単位（千円）

	2024(R6)年度	2025(R7)年度	増減
経常費用合計	2,275,503	2,719,402	443,899
業務費	2,069,195	2,465,488	396,294
教育経費	511,416	758,586	247,170
研究経費	23,776	26,496	2,720
教育研究支援経費	23,622	26,546	2,924
受託研究費等	37,808	35,277	△ 2,531
人件費	1,472,572	1,618,583	146,011
一般管理費	202,652	250,819	48,167
その他	3,655	3,093	△ 562
臨時損失	18,971	11,220	△ 7,751
費用合計	2,294,474	2,730,622	436,148

収益

単位（千円）

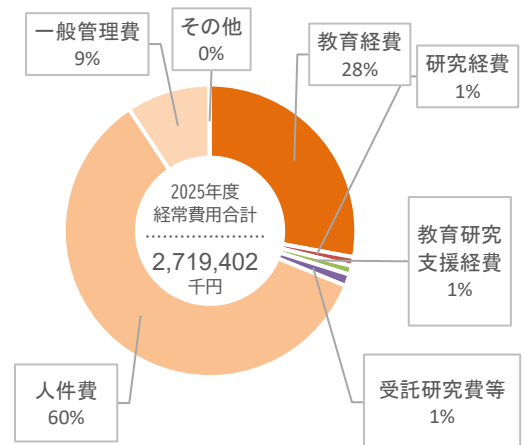
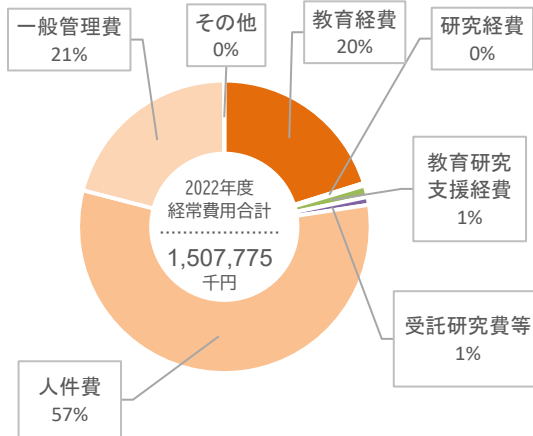
	2024(R6)年度	2025(R7)年度	増減
経常収益合計	2,184,643	2,809,139	624,496
運営費交付金収益	694,512	1,143,250	448,738
授業料等収益	920,429	1,098,804	178,375
受託研究費等収益	38,046	55,033	16,987
補助金等収益	252,309	433,025	180,716
その他収益	53,186	61,108	7,922
寄付金収益	8,432	17,918	9,486
残余財産取崩額	217,726	0	△ 217,726
臨時利益	13,461	1,674	△ 11,787
収益合計	2,198,104	2,810,813	612,709

※単位未満切り捨てのため、合計は必ずしも一致しません。

公立大学法人化後の経常費用の変化（2022→2025）

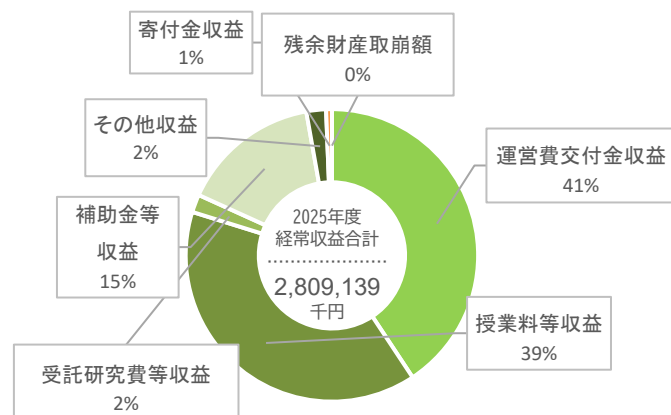
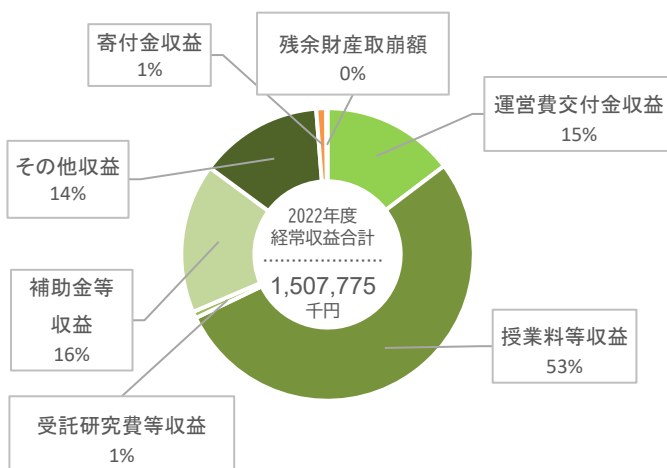
法人化1年目と、その後の比較

新学部設置に伴い、教職員数が増加したため、人件費比率が上がっています。



公立大学法人化後の経常収益の変化（2022→2025）

新学部設置に伴う入学者増のため、運営費交付金の比率が上がっています。



IV. キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書

1年間の資金（キャッシュ）の流れ（フロー）を、活動別に表示したものです。貸借対照表や損益計算書からは読み取れない、実際の資金の流れを表しています。

2025（R7）年度 キャッシュ・フロー計算書のハイライト

資金期末残高は、資金期首残高（654百万円）から、291百万円増加しました。

単位（千円）

科目	2024(R6)年度	2025(R7)年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 263,662	270,300	533,962
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 589,351	△ 406,060	183,291
人件費支出	△ 1,388,192	△ 1,574,814	△ 186,622
その他の業務支出	△ 236,590	△ 190,253	46,337
運営費交付金収入	694,512	1,143,250	448,738
授業料等収入	916,231	776,207	△ 140,024
補助金等収入	204,162	442,413	238,251
寄附金収入	23,486	22,729	△ 757
その他の業務収入	112,080	56,827	△ 55,253
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 515,914	74,766	590,680
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 386,035	△ 26,673	359,362
投資その他の資産の取得による支出	△ 30,000	△ 110	29,890
定期預金の預入による支出	△ 100,000	0	100,000
定期預金の払い出しによる収入	0	100,000	100,000
小計	△ 516,035	73,217	589,252
利息及び配当金の受取額	121	1,549	1,428
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 50,558	△ 54,055	△ 3,497
リース債務の返済による支出	△ 46,903	△ 50,973	△ 4,070
小計	△ 46,903	△ 50,973	△ 4,070
利息の支払額	△ 3,655	△ 3,082	573
IV 資金増加額（I+II+III）	△ 830,134	291,012	1,121,146
V 資金期首残高	1,484,185	654,051	△ 830,134
VI 資金期末残高（IV+V）	654,051	945,063	291,012

経営シミュレーションと決算額の比較

公立大学法人化前の経営シミュレーションでは、法人化後4年目までは経常赤字が発生する見込みであり、学校法人徳山教育財団から引き継いだ残余財産を活用する計画でした。しかし、実際には収入超過となったため、残余財産を取り崩す必要はありませんでした。

●経営シミュレーション（運営費交付金算定基礎となる単位費用を10年目まで毎年2%減少と想定）（単位：百万円）

	初年度 2022(R4)	2年目 2023(R5)	3年目 2024(R6)	4年目 2025(R7)	5年目 2026(R8)	6年目 2027(R9)
収入計 (A)	881	888	1,323	1,783	2,133	2,470
支出計 (B)	1,200	1,328	1,855	1,880	1,909	1,919
収支(A)-(B)	△ 320	△ 440	△ 532	△ 97	224	551
徳山大学からの残余財産充当額	320	440	532	97	—	—
徳山大学からの残余財産充当後の大学最終収支	0	0	0	0	224	551
徳山大学からの残余財産の残高	1,400	1,080	640	108	11	11

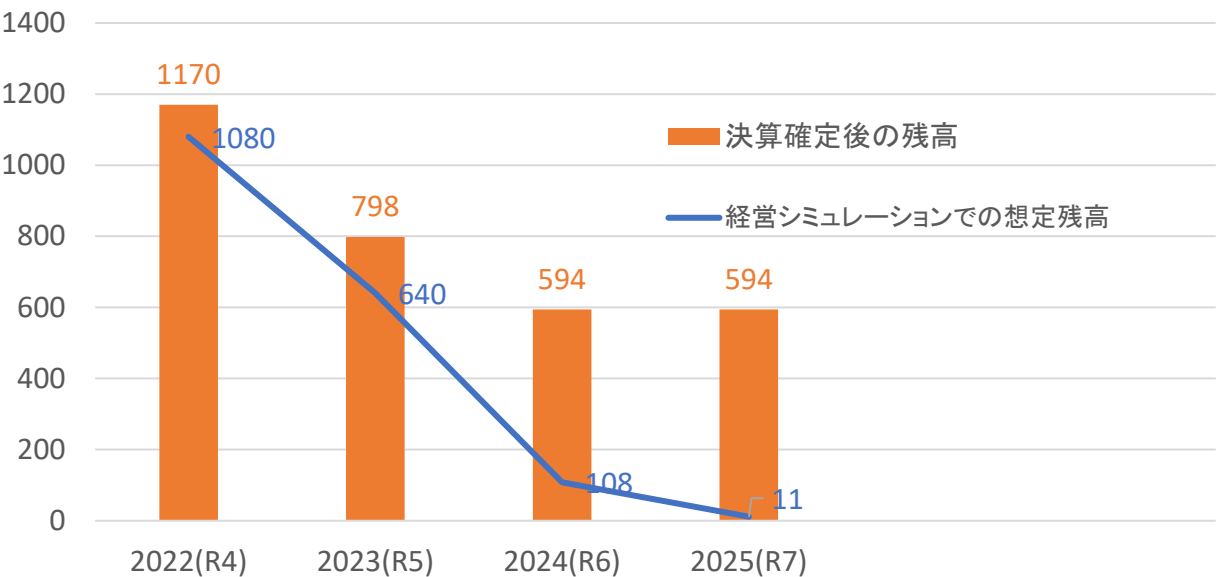
●決算額

	初年度 2022(R4)	2年目 2023(R5)	3年目 2024(R6)	4年目 2025(R7)
収入計 (A)	1,342	1,821	1,917	2,759
支出計 (B)	1,344	2,128	2,135	2,659
収支(A)-(B)	△ 2	△ 307	△ 218	100
徳山大学からの残余財産充当額	2	307	218	0
徳山大学からの残余財産充当後の大学最終収支	0	0	0	0
徳山大学からの残余財産の残高	1,185	1,170	798	594
増減要因	取り崩し	△ 2	△ 321	△ 218
	資産見返寄付金への振替え	△ 13	0	0
	周南みらい基金への振替え	0	△ 51	0
	前年度過取崩し分の積立	0	0	14

<収支の概況>

- 2025（令和7）年度の収支は、当初見込みの1億8,600万円の収支不足から、決算では徳山大学からの残余財産を取崩さずにすみ、約1億円の収入超過となりました。この主な要因は以下の通りです。
- ・ 入学者が定員の100%を超えたことで、運営費交付金や授業料等の収入が増加した。
 - ・ 入札により業務の効率化を図った。
 - ・ 非常勤職員・派遣職員の採用減

<徳山大学からの残余財産（14億円）の残高推移>



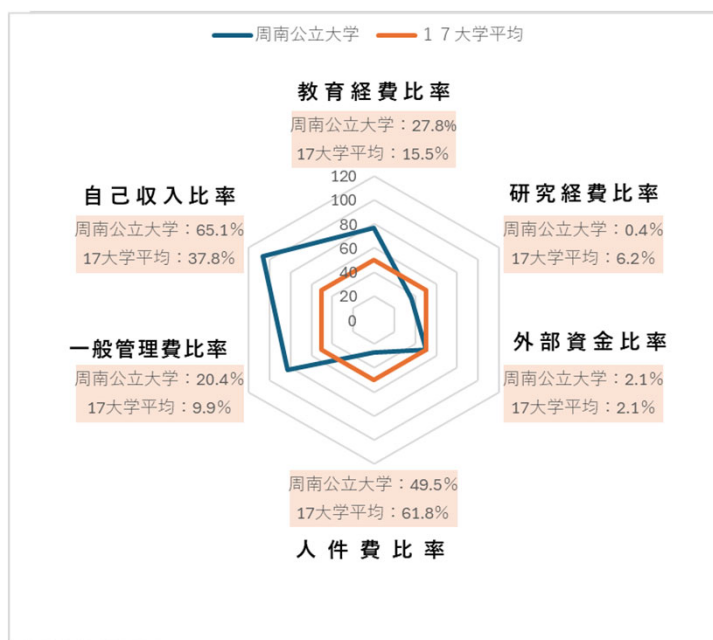
財務指標

周南公立大学の経営状況を、同系同規模の17公立大学法人（2025年度は13）の平均を50とする偏差値で評価しました。

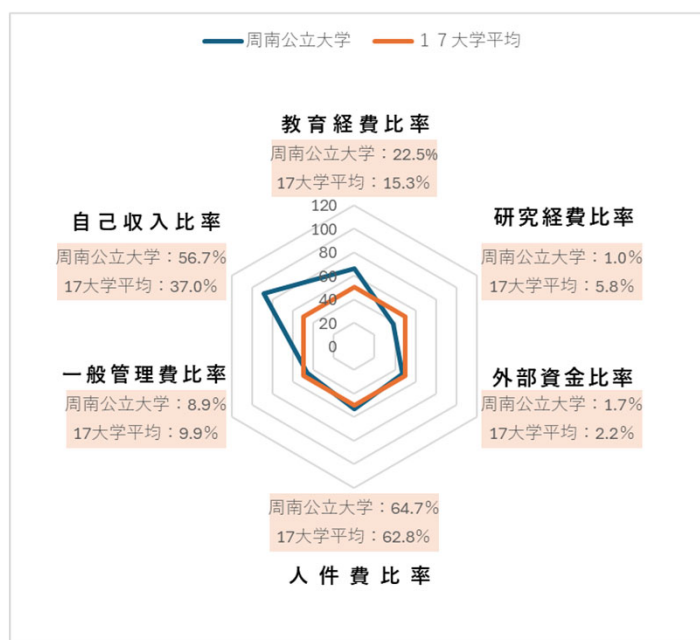
2023年度は、新学部設置に伴う備品購入や設備改修の影響で教育経費比率や一般管理費比率が高くなった一方で、研究経費比率や人件費比率が低くなったという特徴が見られます。また、自己収入比率が他大学に比べて突出しています。

2024年度は、新学部設置に伴う備品購入の影響で教育経費比率や人件費比率が高くなった一方で、研究経費比率や外部資金比率が低くなったという特徴が見られます。また、自己収入比率が他大学に比べて突出しています。

財務指標（2023（R5）年度）

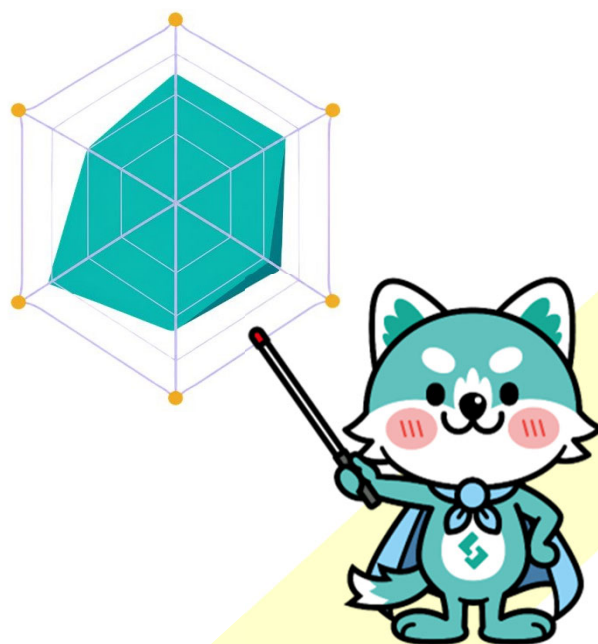
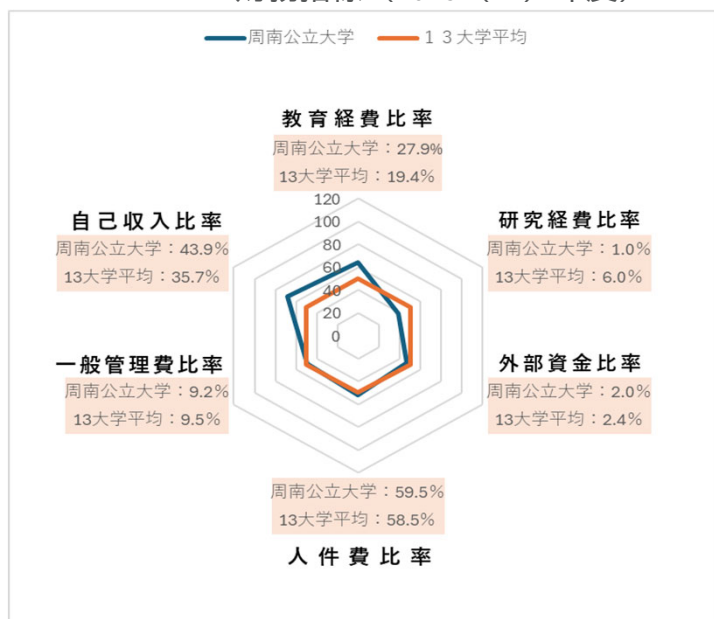


財務指標(2024（R6）年度)



2025年度は、一般管理費比率、人件費比率、外部資金比率は、他大学と同程度であるが、研究経費比率が低く、その分教育経費比率が高くなったという特徴が見られます。また、自己収入比率が他大学に比べて突出しています。

財務指標（2025（R7）年度）



※以下の条件に合致する公立大学法人を同系同規模の公立大学法人とした。

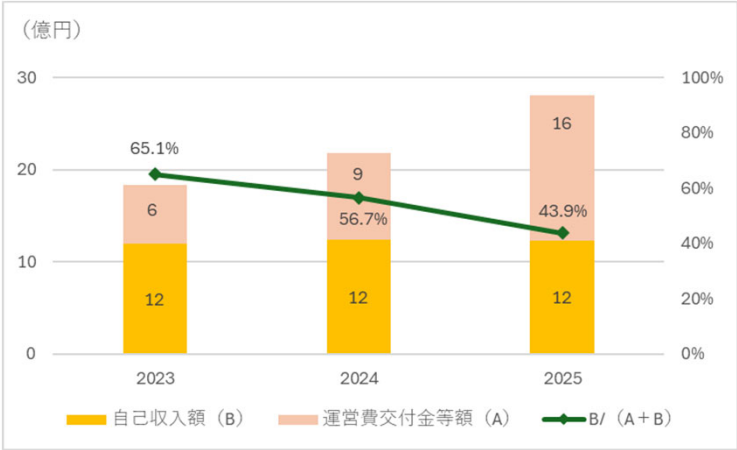
①附属病院がないこと、②単科大学でないこと、③看護系の学部、学科があること、④学生数が1,000～2,000人前後であること

自己収入比率

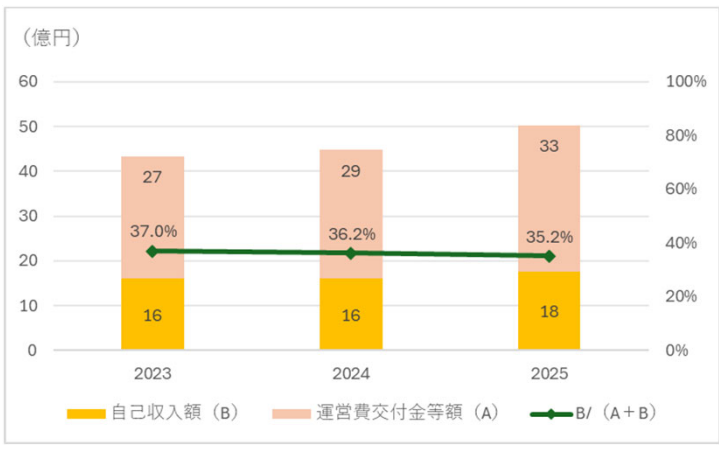
周南公立大学の自己収入比率及び、同系同規模の17公立大学法人（2025年度は13）の平均を時系列で表示します。



周南公立大学



同系同規模の17公立大学法人



※以下の条件に合致する公立大学法人を同系同規模の公立大学法人とした。
①附属病院がないこと、②単科大学でないこと、③看護系の学部、学科があること、④学生数が1,000～2,000人前後であること

財務指標		指標の内容		2023年度	2024年度	2025年度
自立性	自己収入比率	自己収入収益／経常収益	経常収益のうち自己収入収益（運営費交付金等以外の収益）の占める割合はどうか。大学本来の活動のうち、どの程度自己収入に依存しているか。	65.1%	56.7%	43.9%
	教育経費比率	教育経費／経常費用	経常費用のうち教育経費の占める割合はどうか。大学本来の活動のうち、教育活動に充当される直接経費の割合はどうか。	27.8%	22.5%	27.9%
活動性・収益性	研究経費比率	研究経費／経常費用	経常費用のうち研究経費の占める割合はどうか。大学本来の活動のうち、研究活動に充当される直接経費の割合はどうか。	0.4%	1.0%	1.0%
	外部資金比率	（受託研究収益＋共同研究収益＋受託事業収益）／経常収益	経常収益のうち外部から獲得した資金（寄附金を除く）の占める割合はどうか。	2.1%	1.7%	2.0%
発展性・成長性	人件費比率	人件費／経常費用	経常費用のうち人件費の占める割合はどうか。人件費を抑え、学生向けの教育サービスの質的向上や必要な研究経費が十分確保されているか。	49.5%	64.7%	59.5%
	一般管理費比率	一般管理費／経常費用	経常費用と一般管理費との割合はどうか。管理経費を抑え、効率よく法人経営されているか。	20.4%	8.9%	9.2%

2023～2025年度において大きく変化したのは、自己収入比率、研究費率、一般管理費率、人件費率です。自己収入比率は、新学部設置による学生数の増加に伴って運営費交付金が増加し、旧徳山教育財団から引き継いだ残余財産の取り崩しが不要となったため減少しております。研究費率および人件費率は、新学部の設置に伴い教員数が大幅に増加したため増加いたしました。また、一般管理費率は、新学部設置準備における備品・設備購入の支出がなくなったため減少しております。

建物における減価償却累計額の真実 ～財務諸表の「見かけの数字」と「建物の実態」のギャップについて～

2025年度 財務諸表上の帳簿数値

17.7%（減価償却累計額 △7.69億円 / 取得価額 43.37億円）

見かけの印象	数字上は「価値が8割以上残っており、老朽化が進んでいない」ように見えます。
実際のキャンパス状況	設置から40年以上が経過し、修繕が必要な老朽化建物が多数存在しています。
会計上のリセット（原因）	2022年度の公立大学法人化の際、不動産鑑定価格で資産を承継したため、過年度の償却がリセットされゼロから再スタートしたことが背景にあります。

償却率の内訳

法人化前の実態

徳山教育財団からの承継建物

60.9%

2022年3月末時点（簿価15.2億円）

実際の物理的利用年数を反映し、本来は6割以上の減価償却が完了していた状態。

現在の帳簿上

承継建物の現在数値

27.5%

2022年4月以降の償却率

鑑定評価額で再計上されたため、見た目上は「27.5%しか老朽化していない」ように若返って表示。

新規取得物件

2022年以降取得建物

11.1%

2024年度新営建物など

法人化後に新たに建てられた本当の意味での「新築・築浅」建物。

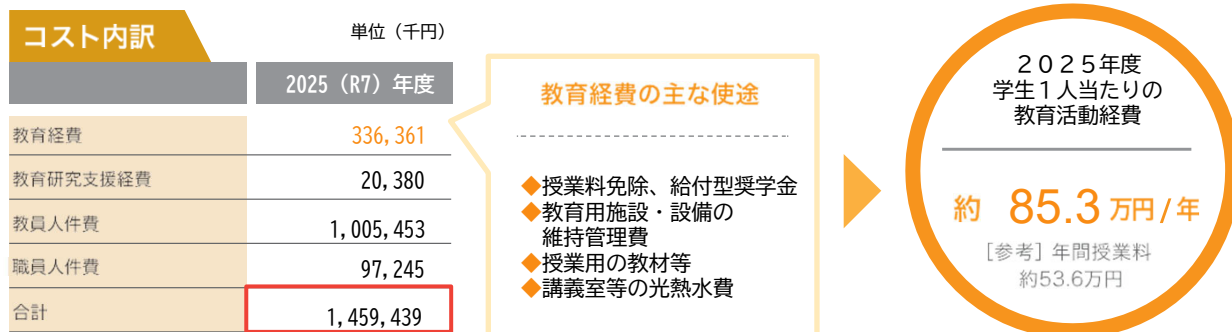
今後の施設整備・財務戦略に向けて

本学の施設管理においては、帳簿上の数字にとらわれることなく、「承継時すでに60.9%の減価償却が終わっていた」という建物の真の実態（物理的寿命）を正しく認識し、計画的な維持修繕や中長期的な施設更新・資金手当を進めていく必要があります。

ステークホルダーの皆様からご支援いただく様々な資金のうち、「授業料」をピックアップし、その使途等をご紹介します。

学生1人当たりの教育活動に要する経費

学生の年間授業料は約53.6万円ですが、教員人件費、職員人件費（学務課）、図書館費、教育に必要な物件費などを合わせると、学生1人当たりの教育活動経費は約85.3万円（昨年度：86.1万円）となります。授業料で賄いきれない差額は、主に運営費交付金や寄附金、補助金などで補填しています。



教育活動に要する経費

上記に示した「教育経費の主な使途」のほか、図書館費、教員人件費、学生に関わる職員の人件費になります。
補助金等により整備したもの、入試や公開講座等在校生と直接関わりのないものは入っておりません。

周南公立大学の財務情報についてさらに詳しくお知りになりたい方は大学ホームページをご覧ください

財務諸表、事業報告書等を大学ホームページで公表しています。



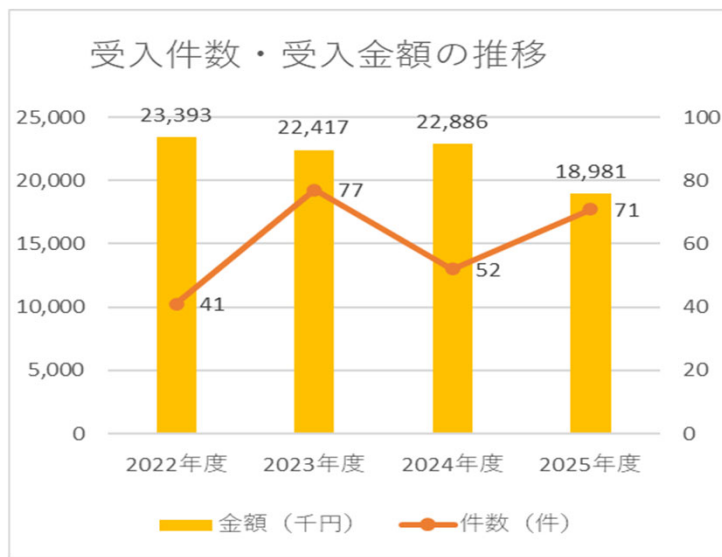
新校舎(S1号館)

「周南公立大学基金（周南みらい基金）」は、学生の修学支援や特色ある教育・研究活動、多様な地域連携活動などを通じて、地域の活性化を図ることを目的として、広く社会から寄附金を受け入れるために周南公立大学が2022年度に創設したものです。

寄附受入額等（収入）

（単位：千円）

			2022(R4) 年度	2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	2025(R7) 年度
寄附金	個人	件数	14	51	25	43
		金額	843	5,208	1,709	3,541
	法人	件数	27	26	27	28
		金額	22,550	17,209	21,177	15,440
	小計	件数	41	77	52	71
		金額	23,393	22,417	22,886	18,981
利息等			-	-	-	646
公立化前の寄附の繰入			0	50,618	0	0
前年度からの繰越金			0	23,393	91,123	109,538
合計			23,393	96,428	114,009	129,165



基金取崩額等（支出）

（単位：千円）

基金の用途	2025年度の主な事業	2023(R5) 年度	2024(R6) 年度	2025(R7) 年度
① 学生の修学支援事業	生活支援奨学金の支給（22名） 学業成績優秀者奨学金の支給（29名）	443	1,230	4,490
② 教育・研究活動支援事業	—	1,559	0	0
③ 地域連携・地域貢献活動支援事業	地域の子どもを対象としたスポーツ 教室の支援	873	409	366
④ 国際交流活動支援事業	—	719	1,139	0
⑤ その他、大学全体への支援事業	基金制度紹介パンフレットの印刷 寄附者の銘板作成等	1,711	126	955
⑥ 特定基金（特定の学生活動や団体、 事業等を指定した寄附）	学生の部活動への支援等	0	1,567	8,880
合計		5,305	4,471	14,691

2025年度末基金残高：1億1,447万4千円

ご寄附のお願い

学生が地域からの温かい支援を実感しながら充実したキャンパスライフが送れるよう、また大学を生かしたまちづくりが実現できるよう、今後も様々な基金事業を展開してまいります。
引き続き、皆様からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。





周南公立大学

SHUNAN UNIVERSITY



PROFILE

名前 ウェルビー

種族 幻の狼

性格 知的で好奇心旺盛、仲間思いで正義感が強い

特徴 学生の挑戦や地域の活動を見守り、
地域と世界をつなぐ架け橋となる

〒745-8566

山口県周南市学園台843-4-2

公立大学法人周南公立大学 経営企画部経理課

【TEL】

0834-28-0411 (代表)

【FAX】

0834-28-8790 (代表)

【発行】

2026年10月